

## 特別史跡加曽利貝塚第2期発掘調査が今年も始まります ～中央窪地と貝層の関係解明を目指して～

千葉市では、平成29年度から特別史跡加曽利貝塚の本格的な発掘調査を半世紀ぶりに開始し、平成29年度から令和元年度の調査で、縄文時代晩期の集落と大型住居跡の存在を明らかにしました（第1期調査）。

令和2年度からは南貝塚中央部を対象とした第2期調査を開始し、令和2・3年度は貝塚中央部の窪地に重点をおいた調査を実施しました。第2期調査3年目にあたる今年度は、7月12日（火）から開始し、中央窪地と貝層の関係解明を目指します。第2期調査の総括となる重要な調査となりますので、お知らせします。

### 1 趣旨・目的

#### <経緯>

平成29年3月に、これまでの加曽利貝塚の発掘調査の成果を取りまとめた『史跡加曽利貝塚総括報告書』を刊行し、加曽利貝塚の全体像を示すことができた一方、集落と貝層の変遷の把握をはじめ、新たに解明すべき課題も明らかになった。

そこで、加曽利貝塚の構造や形成過程等を解明するため、新たに発掘調査を開始した。平成29年度から令和元年度にかけて、加曽利貝塚の集落の終末期の様相の解明を目指した第1期調査を行い、縄文時代晩期の集落の存在を明らかにした。令和2年度から開始した第2期調査では、南貝塚の中央窪地の解明を目指した調査を行っている。

#### <目的>

南貝塚は貝層が径190mの馬のひづめ形に分布する馬蹄形貝塚で、中央部は窪み、貝層や住居跡がない空白地となっている。この中央窪地の成因と用途については分かっていないため、その解明を目指すことが第2期調査の目的である。

令和3年度の調査では、中央窪地から縄文時代晩期（今から約3,000年前）の遺物が出土するとともに、その周辺で非実用的な石剣が多数出土し、儀礼が行われていたことが明らかになった。また、遺物の出土状況や起伏の確認から、中央窪地の表層は人為的に削られていた可能性がほぼ確実となった。その一方、窪地の外側にある貝層からは縄文時代後期（今から約4,000年前）の遺物が出土し、年代的に異なることが分かっている。貝層と窪地の間の人間活動の痕跡を調べて、窪地を含めた南貝塚内側の土地利用の変遷を明らかにする。

#### <期待される効果>

加曽利貝塚の後半期から終末期にかけての集落の姿や生活の様子が明らかになる。日本最大級の貝塚がどのように形成されたのかを解明する上で大きな手掛かりとなり、新博物館の展示と今後の史跡整備に役立てることができる。

## 2 実施概要

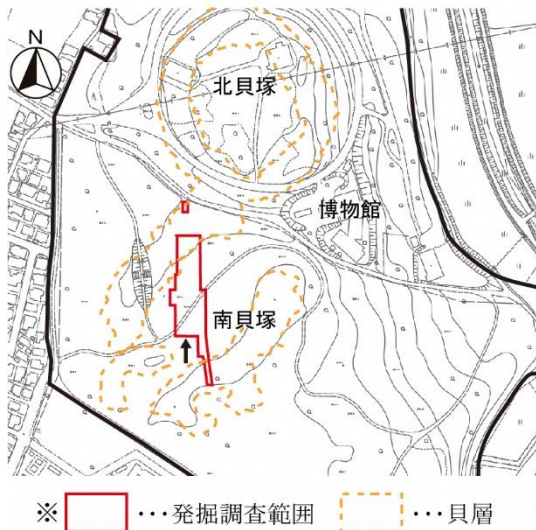
### (1) 調査期間

令和4年7月12日(火)～11月26日(土) 9:00～16:00

※日・月曜日、祝日、7月19日、8月12・13日、9月20日、10月11日、  
および雨天の場合は調査休止。

### (2) 調査場所

特別史跡加曽利貝塚 南貝塚 1,924㎡



令和4年度発掘調査の位置



現地の様子(左図の矢印方向から撮影)

### (3) 調査内容

- ア 範囲内に含まれる昭和39年調査区の再発掘  
(調査区の拡張に伴い、昭和39年調査区の再発掘を新たに行う)
- イ 調査範囲内の遺構(縄文時代の構築物)の分布状況の確認
- ウ 調査区内の自然科学分析

### (4) 調査工程(予定)

- |                   |            |
|-------------------|------------|
| ア 準備作業            | 6月下旬から     |
| イ 調査開始            | 7月12日(火)から |
| ウ 昭和39年調査区の発掘     | 7月中旬から     |
| エ 排出土のふるいがけ作業     | 7月中旬から     |
| オ 遺構の確認・調査、自然科学分析 | 7月下旬から     |
| カ 記録作業等の終了        | 11月25日(金)  |
| キ 現地説明会           | 11月26日(土)  |
| ク 埋戻し             | 12月上旬から    |
| ケ 撤去作業            | 12月下旬      |

### (5) 調査実施機関

千葉市埋蔵文化財調査センター

職員2名・発掘調査員2名・作業員12名 計16名体制

### 3 見学者への対応

発掘調査に関して広く知っていただくため、現地で職員によるガイドや説明会等を開催する。

#### (1) 学芸員（発掘調査担当職員）による現地ガイド「フィールド・トーク」

##### ア 開催日時

調査期間中における発掘実施日の11:00～11:15（7～9月）

調査期間中における発掘実施日の14:00～14:15（10・11月）

※調査休止日、雨天中止の場合を除く。

##### イ 内容

調査成果の説明

##### ウ 参加方法

参加無料、事前申込不要

##### エ その他

ハンドマイクを使用して説明する等、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施する。

#### (2) 現地説明会（令和4年度調査成果の速報）

##### ア 開催日時

11月26日（土）①10:00～12:00 ②13:00～15:30

##### イ 内容

（ア）遺跡の説明、調査の目的の説明

（イ）調査成果の説明

##### ウ 参加方法

参加無料、事前申込制

※申込方法等、詳細は、10月下旬に発表予定

##### エ その他

事前申込・定員制にする等、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んだ上で実施する。

### 4 情報発信

ホームページおよび現地掲示板で情報を定期的に発信する。

#### (1) 以下の加曽利貝塚博物館ホームページの「発掘調査日誌」ページで、随時、発掘調査の様子を発信する。（※随時更新）

【URL】 [https://www.city.chiba.jp/kasori/research/excavation/field-note/hakkutsu\\_r4.html](https://www.city.chiba.jp/kasori/research/excavation/field-note/hakkutsu_r4.html)

#### (2) 現地掲示板（※毎週更新）

##### ア 設置場所

発掘調査地点脇

##### イ 掲示内容

（ア）発掘調査の目的、概要

（イ）前週までの調査成果

（ウ）今週の調査予定

## 5 報道機関向け現地レクチャーの開催

現地において、報道機関向けのレクチャーを開催する。

### (1) スケジュール等

ア 日時

令和4年11月上旬

イ 内容

調査成果の説明と現地説明会の案内を行う。

### (2) 取材申込等

現地でのレクチャー等への参加を希望される方は、実施日の10:00までに文化財課（電話245-5960）へ事前にご連絡ください。

※レクチャー当日の集合場所 加曽利貝塚博物館入口

### (3) その他

現地説明会の詳細と併せて、10月下旬に別途周知予定。

## 6 その他

加曽利貝塚では、土日祝日に縄文体験プログラムを開催している。

### (1) 開催日時

ア 発掘調査体験

毎週土曜日 10:00～15:00

イ 縄文工作教室

毎週日曜日、祝日 10:00～15:00

※最終受付は、14:30まで。

※縄文工作体験は、月ごとに体験できる工作が変わります。

### (2) 参加方法

参加無料、事前申込不要

### (3) チラシ

別添のとおり